

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

# 真剣味



中京大学

広報 189号

2016年11月28日発行



11月4-6日に行われた中京大学祭  
(名古屋キャンパスガレリア) (p.11)

#### 主な内容

- ② 梅村学園100周年記念事業
- ③ 給付奨学金／協定締結
- ④-⑤ 内定者が語る就活体験
- ⑥ 公務員合格者の体験談
- ⑦ 交換留学生新たに29人／よさこいチーム
- ⑧-⑨ 学習・研究活動
- ⑩ 文化・課外活動
- ⑪ 中京大学祭
- ⑫ リオ五輪結果報告／ボクシング田中選手
- ⑬ 日展受賞者インタビュー
- ⑭-⑮ 9月卒業式／五輪史料展示を開催

# 教育のルーツ水戸市と 梅村学園が連携協定

梅村学園と水戸市は11月12日、水戸市総合教育研究所で連携協力に関する包括提携を結



連携協定の署名後握手を交わす梅村総長・理事長(左)と高橋水戸市長

んだ。教育、スポーツなど様々な分野での連携を図る。

協定締結後、記者会見した梅村清英総長・理事長は「梅村学園は7年後の2023年に100周年を迎えます。本日は教育のルーツである水戸市と協定が結ばれたことをうれしく思います。お互いの飛躍につなげたいと思います。また教育機関として人づくりに生かしていきたいと思えます」と語った。高橋水戸市長は「協定を結ぶことができ感謝しています。地方創生元年、連携が多様化を

生むことを期待しています。学官連携で新たな知恵を生むこと、特に梅村学園の得意とするスポーツ分野において19年の団体後の展開にソフトを生かしていきたいと思えます」と抱負を述べた。

## 梅村総長・理事長が講演

締結式に続き、協定事業の第一弾として歴史講演会が行われ、水戸市民ら約250人が聴講した。梅村総長・理事長は「水戸から名古屋へ、そして世界へ」と題して講演し、水戸学の「文武不岐」の教えを源流とする学園の校訓「真剣味」や建学の精神について語った。また、中京大学文学部の白根孝胤准教授が「歴史資料が語る幕末・明治の情景」と題して講演した。

## 水戸藩の学問・教育の伝統と現代

### 鈴木茨城大名誉教授講演

2023年の梅村学園創立100周年を記念し、水戸藩の学問・教育史を研究してきた鈴木映一茨城大学名誉教授による講演会が、11月5日中京大学図書館・学術棟 清明ホールで開催され、250人が聴講した。鈴木名誉教授によると、2代藩主徳川光圀は「彰往考来」(過去を明らかにして未来を考え



講演する鈴木名誉教授

る)の考えのもと、「大日本史」を編纂し、水戸藩の学問・教育の基盤を作った。9代藩主徳川斉昭は1841年「弘道館」を開館し、梅村学

園の建学の精神にも通じる「文武不岐」や「神儒一致」「学問事業一致」などの精神のもとに諸生(書生)と呼ばれる藩士を教育、水戸学として確立されていった。

水戸藩士としての梅村家代々の事蹟についても講演の中で語られ、梅村清英総長・理事長に連なる系譜と水戸藩との関わりが説明された。

梅村家が代々水戸藩士として職務に精励し、会沢正志斎ら

## 「確固たる梅村学園ブランドの確立」

### 第2回委員会で基本方針 寄付金事業は年度内開始

学園100周年に、その先を見据えたビジョンとミツ

梅村学園100周年記念事業委員会(委員長・北本暢梅村学園専務理事)の第2回委員会が11月2日開かれ、基本方針を「確固たる梅村学園ブランドの確立」とするとともに、寄付金事業を今年度内に始めることが承認された。いずれも100周年記念事業の草案策定会議、準備会議の議論を経て委員会に提案された。

シジョンを明確にし、質の高い教育を提供するなど、学園の独自性を社会や学生・保護者に伝える「梅村学園ブランディング」に取り組み。今年から学内外の調査を始め、2019年までに具体的な実行計画を策定し、2020年から実行に移す予定となっている。

基本方針では、2023年の

寄付金事業は、キャンパス整備・設備投資に関わる支援金、スポーツ支援金、教育・研究支援金の3分野。キャンパス整備・設備投資では、中京大学豊田キャンパス、同名古屋キャンパスと附属高校、三重高校・三重中学・梅村幼稚園の3項目を設けるなど3分野で15項目の目的別寄付を設定する。ホームページ上での募金を今年度内に始め、来年4月以降に中京大学卒業生にパンフレットを送り、順次高校の同窓生にも発送して協力を呼びかける。



第2回委員会の様子

吉田松陰にも影響を与えた人物との深い交流があったことなども語られた。

最後に中京大学の同窓生、教

職員や観覧者に向けて「梅村学園の源流に思いを致すことはこの先100年を考えるととても重要なこと」と語った。

# 給付奨学金4倍に

## 入試成績優秀者向け拡充

中京大学は、入試成績優秀者向けの給付奨学金を2017年度から、約4倍に大幅拡充する。

この「入試成績優秀者給付奨学金」は、受験者数が最も多いメインの入試方式であるA方式(3教科型、2教科型)の成績上位者が対象。今年度までは全学部で58人が対象だったが、これを一挙に235人に広げる。東海地区の主要私立大学の同種の給付奨学金では最大規模となる。

### 文科省方針を踏まえ

秀者を選考し、入学金をはじめ授業料、教育充実費、特別施設設備費などを最大4年間全額給付する。2年次以降は毎年学業成績などを審査し、給付継続の可否を決める。

文科科学省は「意欲と学力のある学生などが経済的理由により就学を断念することなく安心して学べるよう毎年充実に図る」として、給付奨学金制度の創設を検討しており、こうした動向を踏まえ、中京大学は

独自に拡充方針を決めた。

入試センターの担当者は「近年経済的理由により途中で学業を断念するケースが本学も含めて見受けられます。また、奨学金を貸与された場合は、卒業後の返済に苦勞される方もいます。本学ではより多くの学生が不安なく学業に打ち込める環境を作りたいと考えています」と話している。

中京大学では、経済的事情により修学が困難な学生に対する給付奨学金、教育ローンの利子に対する給付奨学金、交換留学やセメスター留学に対する奨学金、難関国家試験や難関公務員合格在学に対する資格取得奨学金などの制度を設け、経済支援を充実させている。

# 梅村学園と東海東京FH 包括連携協定を締結

## 学生選手に給付型奨学金



協定を結んだ東海東京FHの石田建昭社長(右)と梅村清英総長・理事長

梅村学園と東海東京フィナンシャル・ホールディングスは11月8日、包括連携協定を締結した。

協定の一環で、2020年東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、同社の寄付金による給付型奨学金「東海東京アスリート育成奨学金」を創設、来年度から4人の中京大学アスリートに支給する。個別の企業

が学園と協定を結び、給付型奨学金を設定するのは珍しい。

協定はスポーツ文化あふれる地域づくりに貢献するため、教育・研究・文化の振興、人材育成、スポーツ振興・社会貢献などに両者が連携して積極的に取り組むのが目的。

奨学金は、中京大学体育会の水泳部、陸上競技部、スケート部の学生を対象に、各学年1人ずつに学費相当額を支給する。奨学生は両者による委員会でき

# 台湾の台北市立大学と 学術交流協定を締結

中京大学と台北市立大学(台湾・台北市)は9月22日、学術交流協定を締結した。台湾の大学との協定は昨年の国立嘉義大学に続き2校目。調印式は同日、台北市立大学天母キャンパスで行われ、安村仁志・中京大学学長と戴遐齡・台北市立大学学長が協定書に調印した。

協定の期間は5年。学術的な共同研究やスポーツ等文化交流に加え、学部・大学院生の交換留学なども視野に入れる。台北市立大学には中京大学台北オフィスが設置される。

トであることを強調。新渡戸稲造博士の「太平洋の橋になりた」という言葉を引用し、「私も『両国の橋になりたい』と願っている」と話した。

戴学長からは、「中京大学の留学経験者が複数名在籍し可能性は大きい。今後の研究・教育交流促進を期待している」と述べた。

台北市立大学は、121年の歴史を持つ台北市立教育大学と台北市立体育学院が合併して設立された。戴学長は、日本のスポーツ庁長官にあたる中華民国行政院体育委员会主任委員を歴任した。

また、同じく元中華民国行政院体育委员会主任委員であり、中京大学体育学部教授を務めた陳全壽先生も調印式に同席した。

台北市立大学との協定書調印式の翌日、安村学長一行は台湾の文部科学省に相当する行政院教育部を訪問。陳立穎・国際及兩岸教育司科長、黃冠超・同司教育副参事らと歓談した。



調印式をした(左から)安村中京大学学長、戴台北市立大学学長、陳先生

安村学長はこの協定締結がゴールではなく、スタート

## 内定者が語る

### 「就活」経験

今年度の就職活動は短期決戦といわれ、内定を獲得している学生は多い。すでに大手企業に内定した3人に就活の進め方、後輩へのアドバイス聞いた。

## 話を聞く姿勢

●内定先：(株)ワコール



竹内 遼さん  
文学部  
言語表現学科4年  
(三重県立名張西高校)

就職活動を開始したのは3年生の9月下旬です。ゼミの定期懇談会で先輩3人の話を聞いたのが最初です。その後、業者主催の説明会でガイダン

スなどを受け、就活の大まかな流れを掴みました。

元々スポーツメーカーを希望しており、数社から内定をもらいましたが、最終的にスポーツアンダーウェアも扱っているワコールに決めました。

アルバイト先のスポーツ用品販売店でリーダーとなつた経験やバスケットボールサークルで副幹事を務めたことも役立ちましたが、最も大きかったのは「面接担当者の」話をちゃんと聞く」という姿勢だと

思います。

集団面接の際、他の人の面接を見ていて明らかに質問とは違う答えをしていることがわかり、話を聞くことの重要性に改めて気づかされました。

後輩へのアドバイスとしては、面接では緊張しすぎず、人の話をちゃんと聞くという基本的なことの大切さです。エントリーシートには自分が得意なことを書きますが、質問を誘導するきっかけとなる材料を書くことをお勧めします。

## 準備をする大切さ

●内定先：全日本空輸(株)



遠山 友紀乃さん  
国際英語学部  
国際英語学科4年  
(鶯谷高校)

高校時代、文理選択を決めるときに「英語が好きだから」と文系へ。英語を将来にどう生かすかと考え、キャビンアテンダント(CA)を目標としました。1年次に友人に誘われエアラ

留学中はビジネス英語やホスピタリティを学ぶ学校とインターンシップを経験、約3か月間カナダのウエストジェット航空でグランドスタッフとして働きました。

空港では緊急の場合もすべて英語で対応しなければなりません。英語以外を母国語とする方もいらっしゃるため、中国の方には漢字で筆談を、韓国の方には知っている韓国語で案内するなど柔軟な対応が必要でした。こうした対応力が活では自分の強みとすることができました。

## キャリアセンターの就職活動サポート

就職活動についてサポートをしているキャリアセンターでは、入学直後から卒業後の自分を見据えられるキャリア支援を実施。各種イベントや講座なども開講している。

就職活動の実践に何が必要か、まずは、知ることからスタート。学外から講師を招いて、就職

## 自分の言葉で語る

●内定先：(株)NTTデータ



服部 雅之さん  
スポーツ科学部  
スポーツ教育学科4年  
(愛知県立新川高校)

12月頃の学内企業セミナーで就活をスタートしました。志望業界が固まっておらず、最初は絞り込みのため合同説明会や企業説明会に通いました。特に企業の単独説明会には約30社行きました。なかでも興味を抱いたのがIT業界です。ITを使つて社会に貢献したいと思い業界を絞りました。

高校時代から陸上部に所属していた私は、大学でも陸上競技部に入部しました。我流での練

習しかしてこなかった高校とは違い、大学で指導者の下、自分で考えながらメニューを作り、周りの仲間と高みを目指していくうちに成績が上がり、3年生の愛知県選手権4×100リレーでは6人に選ばれ出場、優勝することができました。

NTTデータは日本でもトップクラスのIT技術を使い新しいシステムを構築し、企業への導入を行っています。成長を続けているという点、自分を突き詰めるところは陸上と似ていると思いました。

私は就活で、実際に会つて感じることを大事にしました。対面して話すことでネットでは分からない情報、雰囲気などが分かります。自分から考え行動して、道を切り開いて行つてくたさい。

活動対策イベントを開催。

またキャリアアカウンセラによる1クラス5〜10人までの少人数制セミナーを開講。人事採用に豊富な経験をもつ「キャリアアカウンセラ」および「キャリアセンター職員」が常駐。優良企業への就職を果たした「学生アドバイザー」が自らの経験をもとに、就職活動に関する具体的な相談やサポートにあたる。

# 今年の就活は、短期決戦 来年も同様の見込み

今年度(2017年3月卒業予定者)の就職活動は、昨年と比べて「短期決戦」になったことが特徴として挙げられる。

今年度の日程は、経団連加盟の大手企業の取り決めで、採用のための広報活動は昨年と同じ3月1日開始だったが、選考活動の開始は昨年より2か月前倒しの6月1日からとなった。

就職サイト「マイナビ」によると、昨年の日程は一昨年より大幅に後ろ倒しされたため、経団連非加盟の中堅企業が大手より先に会社説明を行い、学生に内定(内々定)を出し始めた。ただ、中堅企業が先に内定を出しても、後で大手企業の内定を得た学生は大手企業の方を希望するケースが多かった。その結果、企業、学生の双方にとって就職活動全体が長期化する事態となった。

この長期化の反省から、今年度は企業側が、3年生の12月から2月にかけて「インターンシップ」を展開。より意識の高い学生を早期から囲い込む動きを見せた。また、一部企業で

「リクルーター」と呼ばれる若手社員を動員して学生に接触したり、学生が「OB・OG訪問」できる機会を広げたりしたり、3月から会社説明会を開催する場合もあった。そのため一部の学生は6月1日の選考活動開始早々に内定(内々定)を得ている。

業界や企業規模にもよるが、昨年以上に選考開始日の6月1日に企業が内定者の意思確認をするケースが目立った。こうした「短期決戦」の流れは来年度(2018年3月卒業予定者)も同様ではないかとマイナビでは推測している。

## 3年生もスタート

3年生の就職活動も、すでに始まっている。

中京大学キャリア支援課はガイダンスや就活対策講座は例年通り10月以降、また業界研究セミナーは昨年より1か月前倒しの11月から行う。年内には対策講座を終え、各種セミナーに参加を促す。

企業からの学内説明会など

への依頼は昨年よりも増えている。ただしこの先、この傾向がずっと続くとは限らない。キャリア支援課としてはその先を見据え、企業との関係づくりを重視していく考え。

保護者や学生には、キャリア支援課を積極的に利用してもらうよう呼びかけている。キャリア支援課の堀江正浩課長は「大学在籍中の就職活動は基本的に一生に一回のこと。悩みなどを一人で抱えずに相談してください」と話している。

### キャリア支援課 3年生対象イベントスケジュール

イベント名称	開催期間	開催キャンパス
業界研究セミナー	11/10(木)~1/20(金)	名古屋・豊田
採用担当者によるパネルディスカッション	12/21(木)・22(金)	名古屋
U・Iターン就職相談会	1/7(日)	名古屋
	1/21(日)	豊田
就活フェア ~OB・OGに聞く~	2/18(日)	名古屋
Chukyo 就職 EXPO	3/7(木)~9(土)	学外(愛知県体育館)

※時間帯や会場、参加方法など、詳細はALBOやメール、キャリアナビで連絡します。  
※また、上記以外のイベントを急遽追加で開催することがありますが、その場合もALBOやメール、キャリアナビで連絡します。

### 国際教養学部 植原さおりさん



## タジキスタンに2年間派遣 留学経験生かし大使館勤務

語が話されており、植原さんの留学経験が買われ、派遣員に選ばれた。

国際教養学部4年の植原さおりさんが、国際交流サービス協会(IHCSA)の在外公館派遣員として、9月から中央アジア・タジキスタンの日本大使館で勤務している。派遣期間は2年。植原さんは渡航前、「今までの経験を生かして頑張りたいです」と決意を話していた。

「中京大学は自分次第、自由が利く場所です。頑張れば先生は見捨てずにサポートしたり、歩み寄れば助けてくださいます。学部には海外で大学進学や就職する友人もいて、日本での就職から外れることに抵抗があった私を後押ししてくれました」と、タジキスタン行きを決めた経緯を語った。

植原さんは3年生の秋から2年間、ロシア政府の奨学金を得て、モスクワ国立教育大学に国費留学した経験がある。偶然、ホームページで制度を知り、持ち前の行動力を発揮して審査を突破した。現地では人文学部ジャーナリズム学科に籍を置き、疑似会見やインタビュー練習、テレビ局での研修などを通して、言葉や話し方、ふるまい方を学んだ。

在外公館派遣員制度は、各国の在外公館に民間人材を派遣し、語学力を生かして外交活動を側面から支える制度。今回で84回目となり、現在196公館に259人が派遣されている。

帰国後、今年の就活で大手企業の内定も得たが、ロシアでの経験が生かせる仕事がしたいと、在外公館派遣員に応募した。タジキスタンはタジク語とロシア

の在外公館に民間人材を派遣し、語学力を生かして外交活動を側面から支える制度。今回で84回目となり、現在196公館に259人が派遣されている。

# 国家総合職、11年連続合格

## 国税専門官は過去最高

今年度、最難関である国家総合職採用試験に4人が合格した。合格は11年連続となり、東海地区の私学としては、唯一の実績となっている。また国家一般職については、10月末現在、45人合格（昨年49人）。

専門職のうち、国税専門官には60人が合格（昨年56人）。過去最高の合格者を記録した。資格センターの津谷圭一郎長は「一般職合格者は全国で7500人ほど、それに対して国税

専門官は3000人ほど。国税専門官は一般教養に加え専門科目があり、対策が難しい。それだけに価値があると感じています」と語った。

公務員試験は基本的にじっくり取り組む必要がある、2年生後半からの学習が望ましい。

### 「弘道塾」での学習 難関突破を後押し

資格センターでは3年生6月以降に「弘道塾※試験」を行う。この試験に合格して「弘道塾」の席を確保できた学生の

難関公務員試験の合格率は高く、公務員講座を受けているだけでなく、難関試験を突破するには継続した努力が必要。

※弘道塾…公務員試験を目指す人のための施設。席数が決まっており、成績優秀者のみ専用の席が用意されている。



弘道塾の様子



## 公務員合格者の体験談

### 弱点を減らす勉強

小川 恭平さん

経済学部4年（愛知県立豊田北高校）

【愛知県庁】※太字は進路先です。

国家総合職、国税専門官



公務員試験では「目標を持つ」「目標を下げない」ことが大切です。高い目標を立て、計画的にぶれずに勉強を続けた結果、合格を勝ち取りました。

勉強は一人でやるのはダメだと思えます。弘道塾では皆で一緒に勉強している意識が持つ、周りと比べてどの位置にいるかわかります。学部によっても得意科目が異なり、弱点を知ることでもできます。弱点科目をいかに減らすかが重要な公務員試験では、自分の位置、力を知ることが大切です。確実に取れるところは取るためにも学内模試は受けた方がいいです。私は学内模試の結果は気にせず、時間配分を確認するようにしました。無理に解こうとしないことが、

かえって自分の弱点を見つけることにつながりました。

官庁訪問はとても刺激を受けました。官僚の方たちと1時間程、1対1で対話します。「何がしたいか」を聞かれるため、自分自身への問いかけができました。総務省を訪問した際、県庁の市と国を繋ぐ役割を聞き、より県庁への気持ちが高まりました。

私は豊田市の市街地から離れた地域の出身です。将来的には山間地域に貢献し、人口減少など地域間の格差をなくしていきたい仕事をしていきたいです。

### 最後まで諦めない

永井 圭輔さん

法学部4年（浜松市立高校）

【国税専門官】※太字は進路先です。

国家一般職



私はずっと公務員、中でも国税専門官を目指して勉強してきました。

中京大学に入学したのも公務員を数多く輩出してきた実績があるからです。1年次に受けた宅建の講座で国税専門官の先輩にお会いし、「税」のスペシャリストという職に惹かれ、国税専門官になるという目標ができました。

私がモチベーションの維持をできたのは、働くイメージがあったからです。

2年次の夏、ボランティアで行った先で出会った大学の先輩に相談すると「税務署でアルバイトする」といって助言をいただき、その冬に2か月程税務署で働きました。実際に働いている職員の方を見てイメージを持つことができました。

勉強は基本的に講座の先生や資格センターの方の話聞いて、カリキュラムに沿って行いました。幅広く「きちんと」学ぶことができるからです。

試験勉強を進めると周り比べてしまうこともあると思います。しかし、諦めないことが大事です。努力すれば結果はついてくることを、身をもって体験しました。日常的に勉強を組み込み、「普段の努力と不断の努力」が大切です。

## 5か国29人が来学 交換留学生が最多

中京大学は秋学期に新たに5か国29人（アメリカ、イタリア、ドイツ、フランス、中国）の留学生を受け入れた。秋学期29人の交換留学生は昨年に続き過去最多となった。春学期から継続して留学中の4人を含め、交換留学生数は33人となる。

## ウェルカムパーティー 日本人学生と交流

9月21日行われたウェルカムパーティーに、留学生30人が参加。国際センター所長の桜井伸二教授（スポーツ科）は「皆さんの滞在がとても有意義で実りあるものになるようお願いしています」と日本での学びを激励した。

留学生らは日本人学生約40人と談笑し交流を深めたようだった。



ウェルカムパーティーの様子

## キャンパス見学会2864人来場 ホームカミングデーは1760人

在学生の保護者に向けたキャンパス見学会と、卒業生に母校を披露するホームカミングデーが、中京大学祭2日目の11月5日、名古屋、豊田の両キャンパスで開催された。

キャンパス見学会は、名古屋1629人、豊田1235人の

2864人が参加し、キャンパス

ツアーで学内を見て回るなどした。名古屋キャンパスでは校地Iと校地IIで分かれ、古文書室や図書館、清明ホールなどを開放しており、学生生活の様子が垣間見えたようだった。

個別相談会も昼過ぎから行われ、各学部や就職、留学について



キャンパスツアーで回った図書館

## よさこいチーム晴地舞 どまつりファイナル進出

よさこいチームの中京大学晴地舞は、8月26日〜28日に行われた第18回につぼんど真ん中祭りで初のファイナル進出を果たし、優秀賞を獲得した。

晴地舞は作品「天晴れ!!」を演舞し、出場207チーム中12チーム以内に入った。出場回数11回、11代目にして初のファイナルとなった。

栄・久屋広場のメインステージで踊るファイナルステージに出るため、27日に行われた大津通パレード会場の審査を勝ち抜いた。他に、8つあ

る地域会場賞の中で、三河安城フェスタ賞も受賞している。

「天晴れ!!」は愛知県豊田市で毎年7月に行われる「豊田おいでんまつり」を題材にしている。祭りに向かうドキドキ感、立ち並ぶ様々な屋台、

胸踊らせるお客さん、民謡にあわせて踊るおいでん総踊り、そして豊田おいでんまつりのファイナルを飾る花火大会。

これらを3分半で晴地舞らしく表現した作品となっている。晴地舞11代目代表の岩橋頼人さん（スポーツ科3）は「初めのファイナル出場を目標に練



ファイナルで演舞する晴地舞

習してきました。笑顔で全てを出し切り、優秀賞を獲得できて最高の経験となりました」と話した。

での相談、公務員試験の相談など列ができ、熱心に聞いていた。

\* \* \*

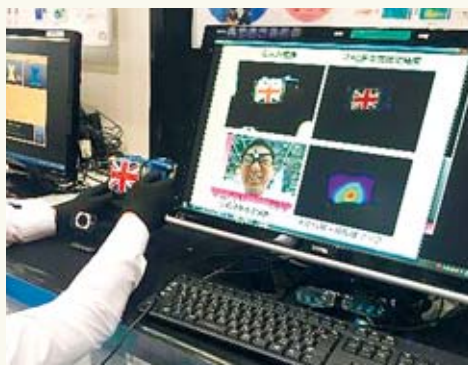
ホームカミングデーには名古屋828人、豊田932人の1760人が参加。同窓生がご家族や後輩の学生たちとイベントを楽しんだり、思い出の場所や新しい施設を見て歩いたり、学生時代に戻った気分キャンパスライフを満喫していた。同窓

生らは「後輩に会いに来ました」「卒業してから初めて来て、昔と大分変わっていても懐かしさがあります」「ホームカミングデーは毎年来ています。同窓会のように楽しいです」と話していた。

また、子ども連れ同窓生も多く、子ども向け企画では学生の手づくり迷路や釣りを家族で楽しんでいる様子だった。

## 工学部 橋本教授 共同研究でJSTTフェアに出展

工学部の橋本教授が、JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)の「センサー・オブ・イノベーションプログラム(COI)」における「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ(ものづくり)地球社会創造拠点」プロジェクト(プロジェクトリーダー 松原健二)プロジェクト代表取締役、研究リーダー 村井純・慶應義塾大学教授)の一員として、関西学院大学の長田典子教授とともに8月25日、26日に東京ビッグサイトで開催されたJSTフェア2016に研究成果を出展した。



開発した笑顔度・注目度センシングシステム

COIプログラムは、未来の産業創造を目指し、全国18カ所に設置されたイノベーション拠点を中心に、JSTがビジョン主導型のチャレンジングでハイリスクな研究開発を支援する仕組み。最長9年間の支援を行う。橋本教授は、長田教授率いる「ヒューマンデザイン」グループのメンバーとして、2013年度より同プロジェクトに参加。橋本研究室の強みである人工知能技術、とりわけ知的センシング技術をフル活用し、コンピュータに人間と同様の感性を持たせるための研究や、満足度・興味度合いといった人間の内面・感情を読み取るための一連の研究をおこなっている。

橋本教授は「新しい生産形態としてのパーソナルファブリケーション(個人による製造)の実現のためには、満足度合いなど、製造物に対する人間の感性を読み取ることや、人間の感性を製造物に反映させるための工学的な仕組みが必要です。長田研究室が保有する感性工学に関する高度な研究成果と、当研究室が得意とする人工知能技術

(3次元計測、表情認識、視線計測技術等)のコラボレーションにより、ユーザーが物体に対して抱く感性の再現と指標化に成功しました」と語った。

### ◆国際教養学部・渡邊航平准教授

授らがバイオメカニクス学会(9月12日〜14日)で奨励賞(国際部門)を受賞。京都大学大学院の神崎素樹教授と中京大学の森谷敏夫客員教授との共同研究だった。今回は118件の発表の中で35歳未満の

若手研究者が選考対象、基礎・応用・国際の各部門で選考が行われた。

### ◆工学部・奥水大和教授、青木公也教授、舟橋琢磨助教ら

の産学共同研究が2016年度精密工学会技術賞を受賞し、9月7日、贈賞された。トヨタ自動車、理化学研究所との研究の中で生まれた研究は画像技術と人工知能技術を統合した「目視検査作業の機械化を目指した人の検査メカニズムのモデル化」。この技術賞

は毎年3件以内に限定して贈賞される。

### ◆工学部・加納政芳教授が日

本知能情報フアジイ学会主催のシンポジウム(8月31日〜9月2日)で著述賞を受賞した。受賞したのは、同学会誌26巻1号に掲載された解説記事「教育現場で活用されるロボットの研究動向」。著述賞は過去2年間で発行された本学会誌含む各種雑誌の解説記事および一般書籍の中から送られる。

## 科学館、AI研連携講座

## 気象衛星ノアの映像受信



イヤホンで音を聞きながら小学生と衛星にむけアンテナを調整する学生

名古屋科学館と中京大学人工知能高等研究所(AI研)

の共催で4年目となる連携講座「手作りアンテナで気象衛星写真をキャッチしよう!」が9月10日名古屋科学館で開催された。定員の6倍の希望があり、当選した16組の小学生親子が手作りアンテナで気象衛星ノア(NOA)からの映像受信に挑戦した。

冒頭、奥水大和AI研所長が「JAXA(宇宙航空研究開発機構)で人工衛星の設計・開発に関わってきた先生方と一緒に楽しんでください」と挨拶した。

子供たちは、村中崇信工学部准教授と学生スタッフのサポートを受けながら、受信アンテナを組み立てた。その後、屋上へ移動し、ノアが上空にさしかかった頃から角度を合わせるとアンテナの調整を試みた。

ノアは数分で日本上空を通過するため、アンテナの角度を調整しながら追尾しなければならぬ。子供たちはそれぞれ受信することができたものの、鮮明な衛星写真を受信する難しさを体験した。

参加した小学4年生は「毎日天気予報を見ているんですが、こんなに大変だったとは知りませんでした」。保護者は「子供と楽しく過ごせました」と話していた。



## 心理学部小林さんと高橋准教授の作品

### 「錯視・錯聴コンテスト」入賞



賞状を手にする小林さん

日本基礎心理学会第35回大会の関連イベントとして行われた

第8回錯視・錯聴コンテストで、小林由佳さん（4年）の作品「八事錯視」と高橋康介准教授の作品「曲がり盲」が入賞した。同コンテストは、例年100件近い応募の中から知覚研究の専門家たちが審査、10件を入賞作品としている。

錯視、錯覚などの知覚と脳の研究は「知覚心理学（実験心理学）」と呼ばれ、心理学の中でも歴史ある重要な分野。心理学部では今回の受賞作品以外にも錯視を使った授業が行われ、錯視を通して人間の脳、心、そして認識の不思議を学ぶことができる。

今回、小林さんは、八事駅の壁にさまざまな色が見える錯視を発見し、「八事錯視」と名付けた。小林さんは「来年からは中京大

## 学部間交流ワークショップ

### 今年度は3回開催

教育推進センター能動的学修検討部会（部会長・総合政策学部坂田隆文教授）主催による、学部の垣根を越えたディスカッションができる場を提供



第2回目自己PRを聞く学生

する学部間交流ワークショップが8月から始まった。11月26日の初回は8学部の学生31人が参加した。学生は就活全体の動向や大学での過ごし方について坂田教授の講義を聴いた後、実際に企業の就活で扱われている議題について、グループディスカッションをした。終了後は懇親会が行われ、学生同士が就活の取り組み状況などを互いに話し合い、意識を高めたようだった。

学部を擁する中京大の強みを生かして学生交流を目指す、初の試み。今年度は、坂田教授が講師となり、「就職活動」をテーマに3回開催する。

2回目は10月29日に開催され、7学部28人が参加した。参加学生は五つのグループに分かれて自己PR作成のためのワークショップを行った。グループでは各自8分間で何を話すかを考え、チームの中で一人ずつ90秒のプレゼンを実施。その後4分間、学生同士で質問やアドバイスをした。ゼミ活動や資格、学部での学びを題材する学生が多く、学生時代の経験をどう企業に伝えるかを身に着けたようだった。また懇親会では、参加した学生同士が連絡先を交換し合うなど、学部の垣根を越えた交友関係ができていた。

今年度最終回となる第3回は、12月26日を予定しており、ALBOにて受付を行っている。

大学院として、知覚心理学を学びます。来年度からも、どこかの街角で見つけた素敵な錯視をコンテストに応募し続け、多くの人に錯視の楽しさを伝えたいと思っています」と語った。

高橋准教授は「人間の脳や心

は、まだまだたくさん謎に包まれています。錯視や錯覚はそんな不思議の一端を私たちに身を持って教えてくれます。心理学部の学生だけでなく、どこから大人まで多くの人にこの楽しさを知ってもらいたい」と語った。

## 工学部学生プロジェクト

### 1作品が企業賞を受賞

香西健太郎さん（機械工学科3）がリーダーを務める工学部9人のチームが開発した、ロボット操作用のソフトウェアが、「U-22プログラミングコンテスト」（10月東京・秋葉原）で企業賞を受賞した。

工学部では学生が有志で集まり、ソフトウェア企業が主催する同大会に挑戦する学生プロジェクトが5月上旬からスタート。工学部8チーム75人が応募し、うち6チームの作品が事前審査を通過した。最終審査に進んだのは賞を受賞した香西さんチームの作品だった。

受賞した作品は、仮想現実感技術を搭載したアプリソフト「直観操作VRリモートパイロット」。災害救助活動の効率化を目的としており、ロボットの

リーダーの香西さんは「学生プロジェクトを通して、とても貴重な経験ができました。来年度以降も、多くの方が学生プロジェクトに参加し、プログラミングの楽しさを知っていただきたいです」とコメントしている。



最終審査会でプレゼンを行う香西さん

※受賞したのはスポンサー企業賞の一つ、フォーラムエイト賞。

の入選作品は全16作品、応募総数は歴代最多の252作品だった。

## NHKラジオ「旅ラジ」 学生らが出演しトーク



左からNHK澤田アナウンサー、CISPオフィス松下さん

NHKラジオ番組「旅ラジ」の公開録音が9月20日、中京大学豊田キャンパスで行われ、よさこいグループの晴地舞やレクリエーション部の学生らが出演した。

「旅ラジ」は、NHKが全国を中継車で巡り、ふるさとの魅力を収録し、ラジオ第一とFMで放送している。9月第4週は、名古屋市、常滑市、南知多町、豊田市が舞台となり、豊田市は中京大学が会場となった。

当日は朝からNHK名古屋放送局のスタッフが多数詰めかけ、19号館（プラザ棟）にスタジオが設置された。NHKアナウンサーの澤田彩香さんが司会を務め、昼過ぎから開演した。

紹介した。続いて登場した晴地舞前代表の岩橋頼人さん（スポーツ科3）、新代表の二村和士さん（工2）は、その場で踊りを披露した後、部の紹介と今年の「第18回につぼんど真ん中祭り」で初めてファイナルに進出して優秀賞を獲得したことを報告した。

また、レクリエーション部の平川達也さん（現代社会2）、橋場尚将さん（同）の5人と、豊田市役所商業観光課の森田悠暉さん、「とよたまちさとミライ塾」の西村新さんもトークに参加した。平川さん、橋場さんは部の活動で地元小学生のスポーツ指導をするなど地域との交流について語った。

トレーニングを中心としたアスリート育成事業「CISP」の松下裕輝さんが最初に登場し、「体幹を鍛えるトレーニン

グはオリンピッククラスの選手の育成だけでなく、一般の日常生活にも活用できる」などと紹

## スクエアピアノを披露

秋学期開講前日の雨降りの中だったが、中京大生（約10人）がトークを楽しんだ。出演した学生は「部の活動はあまり知られていないので、伝えるいい機会になりました」（平川さん）、「ラジオでどのように動きを伝える

か難しい点もあったが楽しめた」（岩橋さん）と話していた。

収録した模様は9月23日午後零時半から25分間、NHKラジオ第一とNHKFMで放送された。

中京大学公開講座の文化・芸術・教育シリーズ第55回「クラシック音楽への招待状」が9月25日（日）、名古屋キャンパスのアレナ211で開催され、愛知県豊田市出身の寺本みなみ・

みずほ姉妹のデュオと中京大学フィルハーモニー交響楽団のアンサンブル（9人編成）が共演した。プログラム後半、本学保有の「スクエアピアノ」（1875



フィルハーモニー交響楽団と寺本姉妹による演奏

年、スタンウェイ社製）が初披露され、来場客約280人が19世紀ピアノ音楽を堪能した。

安村仁志中京大学学長は冒頭、「たくさんの方々」と日曜の午後を過ごすことができている。市民の方々に大学を開放し、こうしてコンサートが開けたことをうれしく思います」と挨拶し、スクエアピアノの由来、各楽曲の解説をした。

演奏に使われたスクエアピアノは、世界最高峰のピアノメーカー、スタンウェイ社ニューヨーク工場で製造された。演奏できるピ



スクエアピアノを演奏する様子

ノとしては日本で最も古いものの一つ。2007年に中京大学が米国在住のピアニスト池宮正信氏から譲り受けた。

名古屋の文化振興のため、中京大学文化市民会館（現・日本特殊陶業市民会館）で展示し、一般公開してきたが、2012年以降は演奏会場となったアレナ211で展示してきた。スクエアピアノは長方形で、弦が横向きに張られ、底板がある。箱状の本体を共鳴させるため、サロンでの演奏に適しており、18世紀、19世紀にはヨーロッパの宮廷やアメリカの上流階級の家で愛されてきた。

## 第63回中京大学祭 名古屋「星」 豊田「明」



パンケーキを出す学生

中京大学祭が11月4日～6日の3日間、名古屋と豊田の両キャンパスで開催された。今年のテーマは名古屋が「星」、豊田は「明」。大学祭を明るく活気のあるものにした、星のように一人ひとりが輝けるものにしたという思いで付けられた。

毎年恒例となるカラオケコンテストや部活サークルなどのブース出店、ミス中京コンテストなどで盛り上がった。

また、新たにお化け屋敷やスマートフォン連動企画といった参加型の企画も行われた。



チアサークルの演技



バンド演奏で盛り上がるステージ



学生に人気だったガレリアイベント



豊田ステージでライブ



焼きそばを作る学生



カラオケ大会の優勝チーム



吹奏楽団による演奏



ミス中京コンテストの出場者



演技終了後のダンスサークル



レクリエーション部のパフォーマンス

## リオ五輪・パラリンピック

### 松田、佐藤選手銅メダル

### 体操の寺本選手も活躍

ブラジル・リオデジャネイロで8月に開催されたオリンピック、9月のパラリンピックで、中京大関係の選手8人、コーチ2人が活躍した。

現役学生で唯一出場した体操女子の寺本明日香選手（スポーツ科3、名経大市郎）は、団体4位、個人総合8位を達成した。体操女子の団体ベスト4は、1968年メキシコ大会以来48年ぶり。個人総合入賞は64年の東京大会以来52年ぶりの快挙とな

った。

競泳男子800

メートルの松田丈

志選手（08年度体

育学修士課程修

了）は3位となり、同種目で52

年ぶりの銅メダル獲得を果たし

た。パラリンピック陸上の佐藤

圭太選手（13年度体育卒、トヨ

タ自動車）も400メートルで

銅メダルに輝いた。陸上十種競

技の中村明彦選手（12年度体育

卒、スズキ浜松A.C）は22位と

なった。

このほか、陸上の男子棒高跳

びに山本聖途選手（13年度体育

卒、トヨタ自動車）、1600メ

ートルに田村朋也選手（14年度

## プロボクサー田中選手

### 2階級制覇に挑む

#### 12月31日、王座決定戦

経済学部3年のプロボクサー、田中恒成選手（畑中ジム）は、12月31日に岐阜メモリアルセンターで行われるWBO世界ライトフライ級王座決定戦で、2階級制覇に挑む。対戦相手は同級1位のモイセス・フェンテス選手（メキシコ）。同級2位の田中選手は、返上したWBO世界ミニマム級チャンピオンに続き、世界王座を目指す。

田中選手は岐阜県多治見市出



身。2013年にプロデビューし、これまで7戦7勝（4KO）の戦績。15年5月の第5戦で、WBO世界ミニマム級1位のメキシコ人選手に判定勝ちし、日本

スポーツ科卒、住友電工）、競泳男子100メートル背泳ぎに長谷川純矢選手（15年度スポーツ科卒、ミキハウス）、ラグビー7人制女子で桑井亜乃選手（11年度体



最速で世界王座を獲得した。1階級上のライトフライ級王座を目指して今年5月にはミニマム級王座を返上し、IBFライトフライ級10位のフィリピン人選手と戦い6回KO勝ちしていた。畑中ジムの畑中清詞会長とともに会見した田中選手は「これまでで最強の相手。地元の岐阜で最高のボクシングを見せたい」と語った。モイセス選手は田中選手と同じ右ボクサーファイターの31歳。戦績は27戦24勝（13KO）2敗1分。試合は岐阜メモリアルセンターで午後3時から予定。

育卒、アルカス熊谷）が出場。各選手とも奮闘したが、惜しくも予選で敗退した。

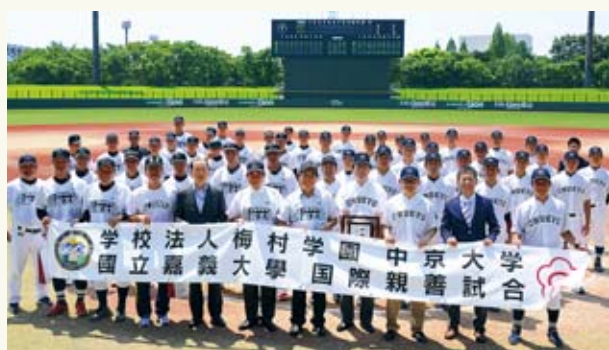
また、坂本周次氏（76年度体育卒、レジックススポーツ代表）が体操女子のヘッドコーチ、佐々木祐一郎氏（93年度体育卒、中京大行政職）が競泳短距離のコーチを務め、日本チームに貢献した。

寺本選手はリオ五輪から帰国後、坂本コーチとともに学園本部を訪れ、梅村清英総長・理事長、安村仁志中京大学学長らに結果を報告。寺本選手は「20年東京五輪にぜひ頑張つて出たい」と抱負を述べた。

## 台湾・国立嘉義大と交流 硬式野球で国際親善試合

昨年12月に学術交流協定を結んだ台湾・国立嘉義大学との初めての学生交流が8月初め、協定締結のきっかけともなった硬式野球試合のイベントとして行われた。

嘉義大の前身である嘉義農林学校と、中京大中京の前身、中京商業学校の野球部がお互い、初めて甲子園大会に出場した1931年夏の決勝戦以来、85年ぶりに後輩たちによる対戦となった国際親善試合は、嘉義大の希望もあつて8月1日から3連



戦の日程で組まれた。

名古屋市のパロマ瑞穂球場で行われた第1戦では試合に先立ち、梅村清英総長・理事長、邱義源・嘉義大、安村仁志・中京大の両学長らが参加してセレモニーが行われ、「今後も交流を深め、発展させていく」ことを約束した。試合は嘉義大が先制したが、中京大が後半に逆転し、7-4となった。第2、3戦は豊田市運動公園野球場で予定されていたが、第2戦は雷雨のため中止となり、3日に行われた最終戦も、中京大が9-2で勝った。

これで1931年以来、中京の3戦3勝。来年2月末には台湾での試合が予定されている。

## 日展の書部門

### 心理学部4年

#### 田口未歩さん初入選



改組 新 第3回日展の入選者が10月20日発表され、書道部の田口未歩さんが書部門で初入選した。

田口さんの作品は、楷書「村夜（允禧詩）」。書道部は昨年から日展への挑戦をはじめ、昨年は学生2人が入選しており、今回の田口さんで2年連続3人目の入選となった。

田口さんが書道を始めたのは大学に入ってから。もともと字を書くことが好きなこともあり、友人に誘われて、書道部に入部した。入部当初は2文字から始めたが、入選した書は1枚40字。書き上げるまで30分以上かかる書を100枚以上書いた。発表当日、田口さんはドキドキしながらインターネットで公表される入選結果を待ったという。「まさか自分の名前が載っ

ているとは思わなかった。何度も確かめて確認し、素直に嬉しいと思いました」と初入選を喜んでいいる。「入選を知った友人はメールやLINEでおめでとうと伝えてくれ、先生方も『やったな、よく頑張った』と褒めて下さった」と話している。

\* \* \*

## 日展の工芸美術部門

### 成瀬清子さん初入選



作者の清子さんと夫の幸夫さん(左)

第4科・工芸美術(革)部門では成瀬清子さん(79年文卒)が初入選した。成瀬さんは同部門に出展を始め7年目で入選を果たした。作品は「浮き出し法」と言う手法で「床」と呼ばれる革を積み重ねた上に牛の一枚革を貼ってレリーフ状に仕上げている。

入選作は「絆(ぎずな)」。鳥の姿を借り、夫婦の絆に重ね合わせて制作した作品だ。成瀬さんは「染色する際も風が吹くと彩色が飛んでしまうので、真夏の暑中、冷房もかけずに仕上げました。また革を削っていく作業は力があるので体力も必要です」と制作の苦労を語る。



「絆」

年に3点ほど作品を制作し日展などに出品している。革工芸を始めたのは中京大学国文学科の同窓生である夫の幸夫さんの

## オープンキャンパス豊田 雨の中1301人が来場

豊田オープンキャンパスが9月18日(日)行われた。あいにくの雨降りにもかかわらず、1301人の高校生や保護者らが来場した。

高校生らは、工学部、現代社会学部、スポーツ科学部の各学部の内容説明や模擬講義を受け、大学の学びを体験していた。保護者向けのガイダンスや学部・学科相談コーナーでは熱心に質問する姿が見られた。また、3学部の各施設見学ツアーも行われた。中でもスポーツ施設を巡るバスツアーに人気が集まり、見学者は学生のガイ



スポーツ科学部実技授業によるデモンストレーション

和光理奈講師のゼミ生による

ドを聞きながら、施設の充実ぶりに感心したようだった。

ダンスパフォーマンス、よさこいグループ晴地舞の演舞も雨にもかかわらず、数百人の熱い視線が注がれた。7月16日(土)、17日(日)に行われた名古屋オープンキャンパスと合わせると、今年の来場者は約1万人に上った。



工学部学生の説明を真剣に聞き入る高校生

アドバイスがきっかけ。この20年ほど作り続けている。「日展に入選できてうれしいです。旧東海銀行で個展を開いたことはありましたが、最近JA保見支店で作品を展示してもらおうくらい。これを機会に個展も開いてみたい」と抱負を語った。

\* \* \*

名古屋での展示は1月25日(2月12日まで)愛知県美術館ギャラリー(栄)で開催される。

# 9月卒業式、初めて開催

## 学部生14人、院生2人出席

2016年度秋学期卒業式が9月20日、名古屋キャンパスのヤマテホールで行われた。9月の卒業式は初めての試みとなる。卒業する学生48人（学部生46人、院生2人）のうち16人（学部生14人、院生2人）が出席し、卒業生らは安村仁志学長から卒業証書を受け取った。



祝辞を述べる梅村総長・理事長



式辞を述べる安村学長

安村学長は「晴れやかな門出です。皆さん、中京大学での学びを通じて身に付けた力を信じて、勇躍新しい生活を始めてください」と式辞を述べた。

梅村清英総長・理事長は「卒業生はすでに12万人を超えており、皆さんはその仲間となります。そこには絆があり、中京ア

イデンテイティーがあります。『高い志』を持って、怠ることなく、常に校訓『真剣味』で臨

んでください。ご卒業、本当におめでとうございます」と祝辞を述べた。

### 第32回全国同窓会

## 盛岡市で70人交流

が「盛岡へようこそ。この全国同窓会開会をうれしく、光栄に思います」とあいさつし、

第32回中京大学全国同窓会が10月1日、盛岡市で開かれた。第71回国民体育大会本大会が同日、岩手県で開催しており、地元在住を中心に同窓生約50人、本学関係者を加えて約70人が参加して、交流を深めた。

来賓の梅村清英総長・理事長は「盛岡は人生で三度目の訪問。今回は理事長就任直後の2013年10月。本日はその理事長就任ちょうど3年目です」と語った。種田行男副学長の発声による乾杯の後は懇親会へ。

同窓会長の森谷敏夫・中京大学学客員教授（72年体育卒）は「本学は、かつてとは姿を大きく変え、全国でも有数の私大となりました。さらなる発展に向けて同窓会として、益々支援したい」とあいさつ。

次年度開催地の愛媛県支部の西野元事務局長は「松山での単独開催は初めてとなります」とあいさつした。最後は全員で学歌を高らかに合唱して閉会となった。

岩手県支部の田村雄孝支部長

### アンケートにご協力ください

今後の広報誌改善のため、アンケートにご協力お願いいたします。

下記QRコードから読み取りのうえ、お答えください。なお、回答していただいたことについては広報誌改善以外には使用いたしません。



### 同窓生の皆様へ

次年度（2017年4月以降）発行の広報誌につきましては、同窓生の皆様へは送付されません。この件の問い合わせにつきましては中京大学校友会本部までご連絡ください。電話番号:052-835-7140 e-mail:koyu@mng.chukyo-u.ac.jp



参加者全員で腕を組んで学歌斉唱

## 中京大学公開講座

受講無料

# 景気シンポジウム 来年の経済見通し

日時 & 会場 2016年 12/6(火) 14:30-16:30  
名古屋マリオットアソシアホテル16F  
タワースポールルーム  
JR名古屋駅直結

コーディネーター



奥野 信宏氏  
梅村学園理事  
評議員・学術顧問

パネリスト



波多野 淳彦氏  
経済産業省  
中部経済産業局長



宮池 克人氏  
中日本高速道路株式会社  
代表取締役社長CEO



富田 英之氏  
中部経済同友会代表幹事  
東明テクノロジーズ株式会社  
代表取締役社長



内田 俊宏氏  
梅村学園評議員  
中京大学経済学部  
客員教授

お申し込み

ホームページ  
ハガキ、FAX

中京大学公開講座

検索

お名前、ご住所、電話番号、「12月6日シンポジウム希望」と明記の上、以下宛てにお送りください。  
中京大学エクステンションセンター 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2  
FAX.052-835-3980 (お問合せ)エクステンションセンター ☎052-835-7216

主催/中京大学、中部経済同友会 後援/中日新聞社、放送大学愛知学習センター

# 貴重な五輪史料を公開

中京大学スポーツ・ミュージアム  
第2回プレ・オープン展示開催

豊田キャンパスに開設する中京大学スポーツ・ミュージアムの「第2回プレ・オープン展示」が11月4日ー6日、豊田図書館1階で開催された。日本オリンピック委員会（JOC）とNPO法人日本オリンピック・アカデミーが後援、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が協力した。

スポーツ・ミュージアムは、梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議の主要事業の一つ。2020年東京五輪・パラリンピックまでの開設を目指し、ス



五輪史料を見る見学者

める共感」をテーマとし、梅村学園100周年記念事業の一つとして行われた。

特に五輪の「参加メダル」に注目し、リオ五輪体操女子代表の寺本明日香選手（スポーツ科3）、リオ・パラリンピック陸上400メートル3位の佐藤圭太選手（13年度体育卒、トヨタ自動車）の参加メダルを展示した。日本初の女子代表選手団として1930年第3回女子五輪に出場した梅村すみ子先生（現総長・理事長の祖母）の参加メダルも公開した。

ポーツ科学部の来田享子教授、現代社会学部の亀井哲也教授、工学部の瀧剛志教授らが連携してスポーツ史料の調査、収集・保存、展示方法の開発を進めている。第2回展示は「スポーツがつなぐ世界 学びと支援が高

このほか、1964年東京五輪の時に展開されたオリンピック教育、支援企業の活動なども紹介した。期間中、一般も含め461人が訪れ、貴重な史料に見入っていた。

## 著書紹介

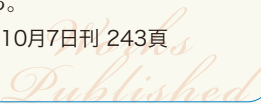
### The Economics of International Immigration

近藤 健児  
(経済学部教授) 著



本書は、発展段階の異なる国々による財や生産要素の市場統合を含んだ経済統合、合法熟練労働者と識別困難な非合法単純労働者の併存、汚染排出抑制技術が劣る近隣低開発国による越境汚染、国際再生可能資源、高齢化と人口減少、若年労働者の高失業率と正社員・非正規社員の経済格差等々、日本が現在直面する経済の諸問題を考慮しつつ、外国人労働受け入れの及ぼす経済効果を理論的に分析した最初の書籍である。ここでは外国人労働者の受け入れ政策が、自然環境、再生可能資源、失業率、賃金格差などの面も含め、経済厚生を高めることに貢献できる可能性が示唆されている。

Springer 2016年10月7日刊 243頁  
税込17,244円



## 訃報



名誉教授  
元法学部教授  
杉江栄一さん  
(すぎえ・えいち)

10月25日逝去されました。87歳。66〜99年在職。国際政治学。

## 図書館の貴重書 20



### 殺生石 (貴138)

活字版で袋綴じの能の楽譜

『殺生石』は、作者未詳の謡曲。那須野で玄翁と能力が、空飛ぶ鳥が石の上に落ちるのを見て驚くと、女が現れ、鳥羽院に近づいて陰陽師に退けられた玉藻前、の執心が石となったことを語り、自らがその石魂であると告げて

消える。玄翁が石に向かつて嗚を唱えると、大石が割れて妖狐が見破られ、野干となつて那須野に逃げたが射殺されたことを語る。今後は悪事をしないと約束して失せる。

この本は江戸初期に出版された古活字版のうち、光悦謡本と呼ばれるもの。前々回、前回も述べたとおり、光悦謡本には帖装本と袋綴本の二種類の装訂があるが、そのうちの袋綴本。袋綴本の紙は楮紙で、綴じ方も江戸時代に一般的であった四つ目綴じ。雲母摺り模様は表紙だけにある。

法政大学能楽研究所の能楽資料デジタルアーカイブで画像公開されている同大鴻山文庫蔵特製本（表紙にも本文の紙にも雲母摺りの模様がある帖装本）の『殺生石』と比べると、本文の字詰めはほぼ一致するが、漢字仮名の違いも含めて活字が異なる。また特製本にはある鉤印の書き込みがない。

(文学部教授 柳沢昌紀)



## 189号のトピックス



水戸市との協定締結式 (p.2)



寺本選手がリオ五輪の結果を報告 (p.12)



スポーツミュージアムのプレオープン展示 (p.15)

しなやかに挑み続ける新生・中京大学



〈発行〉 中京大学 広報部

〒466-8666名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL.052-835-7111(代)